



# 東日本研修センター ～公開講座の実施について～

研修部

## 1. はじめに

総務省主催の平成25年度「第29回情報通信月間（5月15日～6月15日）」における取組みの一環として、光ファイバ通信の基礎知識、研修設備見学、光ファイバ接続体験等を取り入れた公開講座等を以下のとおり実施しました。

## 2. 実施状況

講座名：

「ブロードバンドサービスを支える技術と設備  
～情報通信設備の紹介と光ファイバ接続の体験～」

①実施日：平成25年5月18日（土）

13：00～16：40

②参加者数：9名

③内容：ブロードバンドサービスを支える情報通信設備について普段触れる事のない設備の内側を紹介するとともに光ファイバケーブルの接続を実際に体験し、光ファイバ通信の基礎知識を習得する。  
カリキュラムは下表の通り。

表 カリキュラム

内 容	時間（分）
(1) オリエンテーション	30
(2) 研修設備見学 ・光接続実習室：光設備構成品等 ・メタル接続実習室：メタル設備構成品等 ・安全実習室：転落衝撃体感施設等 ・屋外実習室：酸素欠乏体感施設等	30
(3) 講義：光ファイバケーブルの概要	30
(4) 光ファイバ接続体験 ・融着接続 ・メカニカル接続	110
(5) 意見交換・アンケート	20

## ④実施状況

実施した講座の様様を写真でご紹介します。



光ファイバ接続体験



研修設備見学  
(光設備：架空クロージャ)



研修設備見学  
(ダミー人形による転落)



講義：光ファイバケーブルの概要

## ⑤参加者

今年度は、近隣の住民の方をはじめ、情報通信に興味のある9名の方にご参加いただきました。

## ⑥参加者の主な感想

今回の参加者の皆様からは、以下のような感想を寄せられ、参加して良かった、との声をたくさんいただきました。

- ・光ファイバケーブル接続体験を通じてブロードバンドサービスを支える技術が繊細な作業の上に成り立っている事に驚いた。
- ・東日本研修センターの研修設備を見学する事で、情報通信の仕組みの一端が理解できた。

## 3.おわりに

引き続き、より多くの方に情報通信サービスを支える技術に興味を持っていただけるよう、カリキュラムの一層のブラッシュアップを進め、参加者の皆様に喜んでいただけるよう改善を進めていく予定です。

### 平成25年6月から「訓練部」の組織名称が「研修部」に変更になりました！

研修部

平成25年6月1日より、情報通信エンジニアリング協会の組織名として使用していた「訓練部」という名称を、時代の流れおよび世の中の他企業等の状況も考慮し、「研修部」に変更することとなりました。

これにあわせて、研修センターの中の科班名等で用いている「訓練」という名称についても「研修」に原則変更していくこととします。ただ、科班名等の変更時期については、混乱を回避する観点から今年度分すでにアナウンスしたものについては変更せず、来年度分および新規対応分より「研修」という名称に変更していくこととします。

引き続き、東日本研修センターおよび西日本研修センターの研修をよろしく願います。